



ホームページ <http://www.town.miyota.nagano.jp/>

浅麓衛生センター稼動開始!!

———【問い合わせ先】浅麓環境施設組合 ☎22-7710 役場生活環境課環境衛生係 ☎32-3111内線47番

小諸市、軽井沢町、御代田町、佐久市(旧浅科村)の共同処理施設として平成14年から工事を進めていた「浅麓衛生センター」(汚泥再生処理センター)が、7月1日から稼動しました。

浅麓衛生センターは従来のし尿、浄化槽汚泥に加え、小諸市の高速堆肥化施設で処理されていた生ごみや公共下水道汚泥の適正な処理を行い、エネルギーの有効利用・資源化を図る最先端の施設です。



～どのような施設かという～

- 水分を多く含む生ごみや汚泥などの有機性廃棄物をメタン発酵法により処理をします。
- 発酵により発生するバイオガスを燃料として、発電機で発電した電力を施設内で活用します。
また、発電の際の排熱は回収して乾燥機などの熱源として利用します。
- メタン発酵後の汚泥はさらに発酵させて有機質肥料(コンポスト)を製造し、熱分解処理したし尿や下水道汚泥等に含まれる窒素からは化学肥料である「硫安」を製造します。
コンポストについては従来と異なる製法により品質も改善されます。
- 処理過程で発生する排水は高度処理を行い、排水基準を十分に下回った水質にして放流します。
- ほとんどの機械装置類は建物内に収納して、臭気対策や景観に配慮した施設となっています。

今までのように肥料(コンポスト)は配布されますか？

稼動に伴い、肥料の生産も並行して行っていますが、肥料の出荷開始時期は9月～10月頃を予定しています。配布方法や料金については、浅麓衛生センターへお問い合わせください。

生ごみは今まで通りに出していいですか？

今までどおり町指定の生ごみ袋に入れて出してください。
生ごみ袋に添付されている“袋を縛るヒモ”が麻ヒモから紙ヒモに変わりました。今までのヒモよりも若干縛りづらいかもしれませんが、より良質の堆肥を作るために必要です。ヒモについては今後も改良を加えていきますのでご理解とご協力をお願いします。

生ごみを出す時に注意することはありますか？

今までもお願いしてきましたが、生ごみ袋の中にビニール袋・レジ袋は絶対入れないでください。
特に『レジ袋やビニール袋』『三角コーナーなどで使用する紙製以外の水切りごみ袋』『割り箸、布類、プラスチック、ガラス、金属等の食器、食品容器類』の混入が多く見受けられますのでご注意ください。